



～第 78 回卒業証書授与式～

卒業おめでとう



3 月 7 日(金) 9 時 30 分から、第 78 回卒業証書授与式を行いました。保護者の方をはじめ、1・2 年生の在校生、ご来賓の中での式となりました。少し肌寒くも感じましたが、しっとりとした式でした。3 年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

◎卒業生答辞

本日、私たち卒業生のために、このような温かい卒業式を催していただき、誠にありがとうございます。ご来賓の皆様、先生方、そして支えてくださった保護者の皆様に、卒業生一同、心より感謝申し上げます。

ああ... もう卒業か...

三年前、期待と不安を胸に抱きながらこの学校の門をくぐった日が、つい昨日のこのように思い出されます。新しい仲間たちとの出会いに胸を躍らせながらも、慣れない環境に緊張し、戸惑いながら始まった中学校生活。それでも、優しい先生方や温かい先輩方、そして共に歩む仲間たちのおかげで、次第にこの学校が私たちの大切な居場所となっていきました。

振り返れば、私たちの中学校生活は多くの思い出で彩られています。一年生で行った大久野島の平和学習では、まだ入学してすぐで、お互いにぎこちないながらも、共に活動する中で友情が生まれました。初めての体育大会では、慣れない競技に挑戦し、時には悔しさを感じながらも、クラスの仲間と励まし合い、一丸となって優勝を目指しました。

私にとって、二年生での修学旅行は忘れられない思い出となりました。二泊三日の旅は、学びと楽しさに満ちた貴重な経験でした。初日は博多での班別自主研修。各班ごとに計画を立て、歴史や文化に触れながら自分たちで考え行動する楽しさを味わいました。二日目は熊本での防災学習でした。自然災害による被害と復興の過程を学び、実際に現地の方々の話を聞くことで、防災の大切さを改めて実感しました。三日目はグリーンランドでの時間を存分に楽しみました。長い時間をかけて学び、考えた二日間あとの遊園地でのひときは、仲間と共に心から笑い、友情を深める時間となりました。アトラクションを思い切り楽しみ、旅の最後を最高の思い出で締めくくることができました。

いよいよ最高学年になり、学校の顔となった三年生。最後の体育大会や文化部発表会では、後輩たちを引っ張る立場となり、リーダーとしての責任の重さを感じながらも、仲間と支え合い、助け合うことで、友情はより深いものとなりました。

また、三年間の部活動の経験も、私たちにとってかけがえのない思い出となりました。試合や発表の場では、仲間とともに練習の成果を発揮し、時には苦しい思いをしながらも乗り越えてきました。勝利の喜び、敗北の悔しさ、共に汗を流した日々は、一生忘れることのない財産です。

合計で三千百時間も受けた毎日の授業も私たちにとって大切な時間でした。数学の難しい問題に頭を抱え、友達と「あーじゃないか」「こーじゃないか」と話しながら解いた時間、国語の文章に深く考えさせられた時間、理科の実験で驚きや発見を得たこと、社会を学ぶことで過去と未来を考える力を養ったこと。どれもが今後の人生に生きる大切な経験でした。

少しだけ私事にはなりますが、私は生徒会長として多くの行事に携わる機会をいただきました。私は生徒会活動を通じて、学校全体をより良くするために何ができるのかを考え、行動することの大切さを学びました。時には思い通りにいかないこともありましたが、先生方や仲間たちと共に乗り越えた日々は、私にとってかけがえのない財産となりました。

この三年間を通して、私たちは仲間と共に努力し、成長することの大切さを学びました。喜びも苦しみも分かち合い、支え合ってきたことが、今の私たちを作っています。このかけがえのない経験を胸に、これからの人生を前向きに歩んでいきたいと思います。

ここまで私たちを支え、導いてくださった先生方、時には厳しく、時には優しく見守ってくださり、本当にありがとうございました。先生方の温かいご指導があったからこそ、私たちは自信を持って次のステージへと歩みを進めることができます。先生方から教わったことを今後も生かしていきます。今までお世話になりました。

在校生の皆さん。今まで私たちを支えてくれてありがとう。皆さんの存在があったからこそ、私たちは最高学年としての自覚を持ち、頑張ることができました。これからの日々には楽しいことや辛いことなど、たくさんの方が待っていると思います。そんな時でも、仲間と協力しながら自分たちで乗り越えて、楽しい思い出をたくさん作ってください。皆さんのこれからの活躍を心から願っています。

そして、家族のみなさん、私たちの喜びや悩みに寄り添い、どんな時も支えてくれた家族には感謝してもしきれません。時には反抗してしまうこともありましたが、私たちがここまで成長できたのは、あなた方の支えがあったからです。これからもお世話になりますが、よろしくお願いします。

今日、私たちはこの培遠中学校を巣立ちます。それぞれの道へと進むこととなりますが、この学校で学んだこと、築いた絆は、これからの人生においても決して色褪せることはありません。辛いことや苦しいことがあっても、ここでの思い出を胸に、一歩ずつ前に進んでいきます。

卒業後も、それぞれの夢や目標に向かい、時には困難に直面することもあるでしょう。しかし、この学校で培った努力することの大切さや、仲間と協力することの意義を忘れずに、前向きに挑戦を続けていきたいと思っています。未来はまだ見えない部分が多くありますが、自分を信じて進んでいくことが、私たちのこれからの成長につながるはずです。

最後になりましたが、先生方、保護者の皆様、そして共に過ごした仲間たちに、心からの感謝を込めて、答辞とさせていただきます。

卒業生代表 高橋 朔

◎在校生送辞

肌を震わす冷たい風もいつしか和らぎ、温かな春が近づいてまいりました。培遠中学校を旅立たれる卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

長いようで短い三年間。今、先輩方は培遠中学校で過ごしたかけがえのない日々を昨日のことのよう思い出しているのではないのでしょうか。

私たちの心にも、先輩方と過ごした日々の出来事が次々と浮かんできます。

二年前の入学式、緊張や不安でいっぱいの私達をあたたく迎え入れてくださったことを今でも覚えています。後ろを振り返らなくても伝わってくる先輩方の存在感と同時に感じる温かな眼差しは、緊張する私たちの心を優しく包んでくださいました。

学校行事では、ムードメーカーとして学校全体を盛り上げてくださいました。特に体育大会でのチーム対抗リレーや綱引きなど、様々な場面で活躍される先輩方はとても輝いて見えました。後輩を引っ張っていき、在校生のお手本となり、全力で楽しむ姿はとてもかっこよく私たちの憧れの姿でした。私達はその姿を受け継ぎ、皆で協力して更に誇れる培遠中学校を築いていきます。

先輩方はいよいよ培遠における三年間の学校生活を終え、次の舞台へ旅立たれるときを迎えられました。これから先、先輩方が進む道の途中には大きな壁が待ち受けているかもしれません。ですが、そんなときは培遠中学校での三年間を思い出してください。私達を引っ張ってくださり、いくつもの困難を乗り越えてきた先輩方なら、校章にもある、たんぽぽのようにどこでも花を咲かせることができ、一人一人が輝けることを信じています。

私たちは先輩方の後輩としてこの学び舎で共に過ごせたことを心から誇りに思います。これまで、私達を支えてくださり本当にありがとうございました。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご多幸、そしてさらなるご活躍を祈念して、送辞とさせていただきます。

在校生代表 飯塚 陽葵



◎教育相談窓口（性暴力・体罰・いじめ・セクハラ相談窓口）

○培遠中学校

生徒指導主事 山崎彩音 養護教諭 片岡範子 スクールカウンセラー 山本孝美

084-947-1103

○広島県教育委員会教職員課

082-513-4917

082-513-4985

女性担当

082-513-4918

082-513-4919

○広島県立教育センター

082-427-3076

○福山市教育委員会学事課

084-928-1112

○福山市教育委員会学びづくり課

084-928-1170